

第3回大阪府万博推進本部会議及び第4回大阪府SDGs推進本部会議 議事概要

日 時 令和2年3月31日(火) 11時00分から11時15分まで
ところ 大阪府庁本館3階 特別会議室(大)

【議事概要】

(村上政策企画部長)

- ・ただいまより、第3回大阪府万博推進本部会議及び第4回大阪府SDGs推進本部会議を開催させていただく。
- ・本日の議題は2件で、1件目が「万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン」。2点目は「Osaka SDGs ビジョン」について、それぞれ案がまとまったので、ご説明させていただく。
- ・両会議の議事につきまして、最後に合わせてご意見をいただければと考えているので、よろしく願いたい。
- ・それでは、まず、「万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン」について、説明させていただく。

(奥平企画室副理事)

- ・資料1をご覧ください。大阪・関西万博を一過性のものとせず、そのインパクトを最大限に活かし、持続的な成長と、府民の豊かな暮らしを確たるものとし、万博開催都市として、世界とともに未来をつくっていく必要があるとそういう認識のもとに、まずは、めざすべき将来像をしっかりと描き、将来像を実現するための取組みの方向を示すことで、「オール大阪」の羅針盤となるビジョンを、今年度、府市一体で策定した。
- ・将来像については2ページをご覧ください。子どもたちが未来に夢と希望をもてる、端的でわかりやすいものとするとともに、目標年次としては、万博を体験する子どもたちが世に出て活躍する時期を想定し、2040年としている。
- ・将来像の検討にあたっては、大阪の歴史、現在のポテンシャルや世界の潮流などから多角的に分析した。4ページから15ページまで、その分析の結果を要約したものを掲載しているのでご参照いただきたい。
- ・次に、16ページでは、将来像とそれを実現するための3つの柱についてご説明している。
- ・将来像は、「世界一ワクワクする都市・大阪」としており、その将来像を実現する3つの柱としては、「多様なチャレンジによる成長」、「いのち輝く幸せな暮らし」、「世

界の未来をともにつくる」の3つを設定。これを循環させることで都市が発展していくと考えている。

- ・将来像について、世界一ワクワクする都市とした理由は、日本が、世界が直面する様々な課題があるが、これにもひるまず前向きに進んでいくという意味や、東京とは異なる個性・新たな価値観をもって、新たな都市像を先導するという考えを込めている。
- ・次に19ページから24ページは、3つの柱ごとに、目指すべき取組みの方向性を記載している。持続的な成長の観点からの取組みや、府民の豊かな暮らしの観点からの取組み、さらには、これら取組みを通じて、世界の様々な課題解決に貢献し、世界の未来をともにつくっていく。
- ・次に25ページでは、この将来像の実現に向けた取組工程について記載している。まず、万博までの5年間の取組工程として、万博を成功に導くとともに、そのインパクトを生み出すため都市基盤を確立していく。
- ・そして、確立した基盤をもとに、万博後は、万博のレガシーを活かして、さらに取組みを加速させていくと、そういう工程にしている。
- ・来年度、まず、万博まで5年間の取り組むべき内容を明らかにする工程を策定することとしており、スマートシティやSDGsの取組みはもとより、各部局の皆さまと一層緊密な連携をしながら進めてまいる。

(村上政策企画部長)

- ・引き続き「Osaka SDGs ビジョン」について、説明させていただく。

(西島企画室副理事)

- ・まず、資料2の3ページをご覧ください。
本ビジョンは、大阪がめざすSDGs先進都市の姿を明確にし、様々なステークホルダーと共有することで、SDGsの新たな取組みの創出を図ることを目的としている。
- ・5ページをご覧ください。府の役割としては、まず、SDGsを広く知っていただくこと、次にステークホルダーをつないでいくこと、そして、府自らもSDGsに貢献すること、最後に、ハード・ソフト両面からSDGsを具現化した都市づくりを進めるの、4つを整理している。
- ・6ページをご覧ください。取組みの工程としては、2025年大阪・関西万博までに、重点ゴールの底上げを図るなど、SDGs先進都市としての基盤を整え、万博後、そのレガシーとしてSDGsの目標年限である2030年までにSDGs先進都市を実現していくという工程としている。
- ・先ほど申し上げた重点ゴールについて、7ページをご覧ください。そこでは、4つの視点についてご説明している。8月の推進本部会議でお示した、視点1の現状分析に加え、府民や若者、企業の声、それから、これまでの府の施策、世界の動

きなどを総合的に勘案し、有識者にもご意見をいただき整理をしている。

- ・ 19 ページをご覧ください。SDGs 先進都市として、国際社会全体の課題であるジェンダーや人権、気候変動に取り組むことはもとより、万博のテーマである “いのち” や暮らし、次世代に関わる課題を有するゴール3を「府民の豊かさ」をめざす重点ゴールとして位置づけ、これと関連させて、ゴール 1、4、12 に取り組むこととしている。
- ・ また、ゴール 11 を「大阪の豊かさ」をめざす、もう一方の重点ゴールとし、推進にあたり、産業や雇用、イノベーションといった都市としての強みを活かしていくこととしている。
- ・ 最後に 20 ページをご覧ください。「SDGs 先進都市」をめざしていくにあたり、最も大切なこととして、一人ひとりが自律的に SDGs 全ての達成に取り組むこととしている。そのうえで、今回、本ビジョンでお示しした重点ゴールに様々なステークホルダーの連携と協調により注力していく。そうすることで、万博において大阪のあらゆる場所で SDGs を体現した行動がなされている姿を発信し、2030 年に向けて大阪が先頭に立って、世界とともに SDGs を達成していくということに繋がると考えている。
- ・ 各部局においては、特に重点ゴールを中心とした取組みの充実、強化をお願い致したい。

(村上政策企画部長)

- ・ それでは、先ほどの万博推進本部の議事も含めて、ご意見があればお願いしたい。

(山口副知事)

- ・ 両方とも、行政だけでは達成することは非常に難しい。今後どういう形でステークホルダー、それぞれの主体に働きかけて実現をめざしていくのか。その点、説明があれば追加でお願いしたい。

(奥平企画室副理事)

- ・ 万博ビジョンについて、オール大阪の取組みで、様々なステークホルダーに結びつけている。取組みについては、大阪府・大阪市を中心に工程を作っていくが、府内市町村、経済団体を通じて民間企業の方々等にこのビジョンを広く浸透・共有を図り、最後、工程をつくる時にオール大阪でめざす、そういうものにしていこうと考えている。

(西島企画室副理事)

- ・ SDGs についても、万博の取組みとも連携をしながら、引き続き広く知っていただき、それぞれのステークホルダーとのネットワークを作っていきたいと考えている。

(山口副知事)

- ・今までだったら、単に施策を工程表の中に入れるという感じになってしまうが、かなり目標が高いというか、志が高い目標を設定していると思う。
- ・今だったら、例えばコロナの問題、新たに感染症の課題とかそういうのが出ているので、各主体と今までやっていることを単に羅列するだけではなく、新しい取組みとして、どういうことをやれば更によくなるのかということの特にしっかり議論してもらいたい。
- ・府から働きかけるとお金を出してくれるのかという話になることが多いが、そういう視点だけに捉われるのではなく、よい大阪をつくっていくという視点で、しっかりと各主体と検討してもらって、一つでも多くよい取組みができるようしっかりとやっていただきたい。

(大阪府知事)

- ・ドバイの博覧会が今年の10月に予定されていたが、今回のコロナの世界的な感染拡大を受けて、約1年延期されるんじゃないかという報道も流れてきたところ。
- ・何とかこのコロナの世界的な感染拡大を防いで、ドバイの博覧会が世界的に成功をおさめて、そして2025年の万博に繋げていきたいと思っている。
- ・大阪にとって2025年万博、これはまさにターゲットイヤーになると思っている。2025年までにすべきもの、そして、2025年の万博を一過性のものにするのではなく、その先をめざす姿、一定ここで、まとめてもらったと思う。
- ・特に、まずは万博までの5年間、何をするのかということをも明らかにすることで、来年度、新年度においては、万博までのロードマップを大阪府市一体で策定していきたい。
- ・それから、SDGsの取組みについても、ターゲットイヤーである2025年万博というのを一つのポイントにして、2025年までにすべきこと、そしてその先の2030年までにすべきことの目標を掲げて、様々なステークホルダーと連携して、SDGsの取組みを広めていくよう是非、取り組んでももらいたい。
- ・2025年の万博成功をめざして、着実に一步一步進めていきたいので、よろしく願います。

(村上政策企画部長)

- ・それでは、万博に向けて、さらに引き続き開催都市として、着実な準備を進めるということ、それから来年度からの両ビジョンの推進に向けては、知事からご発言があったとおり、引き続きご協力をよろしく願いたい。

(了)